

本号のテーマ：「学校で学べる素晴らしさ」

先月、5月18日より教育委員となって初めて小学校、中学校を訪問しました。東信教育事務所・佐久市教育委員会の主幹指導主事先生の学校訪問に同行し、小学校6校、中学校2校の様子を参観することができました。コロナウィルス感染防止のために臨時休校や分散登校をしていた学校、6月1日より通常の登校となりました。

コロナウィルス感染防止と子ども達の学びの保障をするという二つの大きな課題があり、さらに熱中症予防のための暑さ対策を講じなければならない学校現場。子ども達や先生方の不安な思いや負担が大きいだろうなと思っていました。しかし、自分の予想以上に子ども達は落ち着いて学び、学校生活を楽しんでいるように思いました。学校で学べる素晴らしさを改めて強く感じました。特に自分の印象に残った3つのことについて紹介します。

1 コロナウィルス感染防止のために最善を尽くす先生方や子ども達

マスクの着用や手洗い・うがいの励行、教室・トイレ前への消毒液の設置、子ども達の下校後の校内の消毒、密閉・密集・密接の三密を回避するために教室の机の間隔を可能な限り広げ、定期的な換気や放送を利用しての全校集会等の実施、給食コンテナ室の密を避けるための給食の運搬方法や清掃の仕方など、先生方が何度も話し合っ
て子ども達が安全に学校生活を過ごせるための対応の仕方を工夫し、子ども達の考えも生かしながら感染防止のために努力をしていただきました。

コロナウィルスに感染してしまった家庭で、嫌がらせの張り紙をされたり車を傷つけられたりし、その場所に住めなくなり引っ越しを余儀なくされたという話を別の機会に聞きました。感染防止のために必要な対策をしても感染してしまうのがこのコロナウィルスの恐ろしさです。学校では、「感染者及びその家族等への差別・偏見・誹謗中傷などあってはならないことです。人権を尊重し、差別的な言動や事象が起きないように正しい知識、適切なふるまいを指導します。」というように大切な人権教育の考え方を基盤に据え、コロナウィルス感染防止の対応を考えていくことができることがうれしかったです。



2 子ども達の落ち着いた学びを生む魅力ある授業実践

臨時休業が長く続き、心配されるのが子ども達の学びの保障、授業時数の確保というのですが、学校では分散登校中の授業の実施、夏休みの短縮、学校行事の内容の精選、朝の時間の利用、日課表の工夫等の対応により先の見通しをもって授業時数の

確保に当たっていました。夏休みも大幅な縮小ではなく対応できそうです。運動会や音楽会、5年生のキャンプ、6年生の修学旅行も中止ではなく柔軟な対応をして子ども達にとって貴重な体験ができるように考えていただきました。

学校訪問をして、強く感じたことは子ども達がとても落ち着いて学んでいるということです。授業に集中していることを感じました。清掃の時間には床を一生懸命に磨く子ども達の姿がありました。長い休校により学校で学べることの素晴らしさ、ありがたさを子ども達も今まで以上に感じたのではないのでしょうか。不登校傾向の子ども達も分散登校の経験により登校できるようになってきたといううれしい話をお聞きすることができました。

子ども達の落ち着き、授業への集中をもたらしているもの、それはやはり先生方による魅力ある授業だと思います。先生方も子ども達が学校に戻ってきてくれるのを待っていたのだと思います。わかりやすい授業にするために丁寧な子ども達への語り掛けや板書の工夫が素晴らしいと思いました。先生方の熱意が伝わってきました。



中でも、私自身がその魅力に引き込まれた授業が二つありました。32名の小学1年生のクラス、国語で「す」の字を学習していました。先生は子ども達が黒板に集中するまでじっと待ち、「す」の字を書くとき「真っすぐ 真っすぐ丸々して」とリズムある心地よい言葉を添えていました。

子ども達は静まり、人数の多さを少しも感じませんでした。真剣に、そして集中して「す」の字を書き、書き終わったあと笑顔溢れる声が教室に響き合いました。1年生らしいなんともほほえましい光景で、メリハリのある素敵な授業だなと思いました。

もう一つは、中学3年生の数学の授業。校長先生のお話によると、この先生は毎時間の数学の自分の授業の板書を写真に撮り、それをノートに貼ってもっと工夫しなければならないことをノートに書き、自分で授業分析と授業の反省をされているとのことでした。循環小数や有理数・無理数についての学習でした。「循環小数の0.99999999・・・は1といえるか？」という学習問題についての子供達と一緒に考えた解き方は、思わず「え！ そうか。なるほど」とつぶやいてしまうほどで授業に引き込まれました。私は小学校の頃算数に苦手意識があり、中学に入って数学は最も苦手な嫌いな教科になってしまいましたが、この授業を参観して、数学の面白さに魅せられ、勉強したくなりました。

3 給食があるありがたさ、給食のおいしさ

午後に訪問した4つの学校で給食をいただきました。教員を退職してから4年ぶりの学校給食です。久しぶりの給食は、とてもおいしかったです。ありがたいなと思いました。給食コンテナ室から教室に運搬する子ども達の様子を見ました。密にならないように間隔に気を付け、お喋りはしないで整然と行動していました。みんなで声をそろえて「ありがとうございます。」と気持ちのいい挨拶をしながら教室に向かっていきました。子ども達にも感謝の気持ちが育まれていることを強く感じました。



緊急事態宣言が解除され、7月に入ってから東京での感染者数が増大しています。

第2波、第3波が心配されます。そんな中、学校では新しい生活様式をもとに子ども達の安全を守ることと学びの保障に向けて精一杯の努力をしてくださることを感じた学校訪問でした。子ども達の平穏な学校生活が続くことを切に願っています。